



平成 19 年 2 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 19 年 1 月 12 日

上場会社名 株式会社スギ薬局 (コード番号: 7 6 4 9 東証・名証第 1 部)
 (URL <http://www.drug-sugi.co.jp/>)
 問合せ先 代表取締役社長 杉浦 広一 TEL:(0566)73 6300
 常務取締役管理本部長 金井 哲治

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有・無
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有・無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有・無

2. 平成 19 年 2 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 3 月 1 日～平成 18 年 11 月 30 日）

当社は、前連結会計年度（平成 17 年 3 月 1 日から平成 18 年 2 月 28 日）に株式会社ジャパンの株式を取得し子会社化しましたが、株式のみなし取得日が前連結会計年度末となるため、当連結会計年度より、連結損益計算書及び連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

従いまして、当第 3 四半期の連結損益計算書及び連結キャッシュ・フロー計算書の前年対比は行っておりません。

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（単位：百万円未満切捨）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 2 月期第 3 四半期	162,318	-	6,576	-	7,247	-	3,064	-
18 年 2 月期第 3 四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考)18 年 2 月期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1 株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
19 年 2 月期第 3 四半期	51	25	-	-
18 年 2 月期第 3 四半期	-	-	-	-
(参考)18 年 2 月期	-	-	-	-

（注）期中平均株式数につきましては、平成 19 年 2 月期第 3 四半期は 59,787,657 株であります。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期（平成 18 年 3 月 1 日～平成 18 年 11 月 30 日）における我が国の経済は、高水準で推移する企業収益に支えられて、「いざなぎ景気」を超える成長を持続しました。その中で、雇用者所得も順調に増加しましたが、個人消費は 7～9 月期の大幅な落ち込みからは回復したものの、増加トレンドにあるとはいいがたい状況でありました。

当社グループを含む小売業界においては、上記のような景気回復とは裏腹に、天候不順と、昨年に比べて花粉の飛散量が大幅に減少したことに加え、同業間の競争が激化するなど、引き続き厳しい経営環境下にありました。

このような状況の中、当社グループは当第3四半期（平成18年3月1日～平成18年11月30日）も積極的な店舗展開を実施し、中部エリアに24店舗、関西エリアに11店舗の新規出店を行うとともに、関東エリアにおいては、平成18年8月に開設したスギ薬局和光店（埼玉県和光市）を皮切りに、本格的な進出を開始し、当第3四半期に13舗の新規出店を行いました。

また、当社グループは、不採算店舗等の統廃合を進め15店舗を退店し、当第3四半期末の総店舗数は505店舗となりました。

さらに、平成18年6月8日に本格的な関東進出に先駆けて、薬事研修センター東京校（東京都品川区）を開校し、既施設である薬事研修センター名古屋校及び京都校とあわせた三校体制を構築、医療人たる薬剤師の資質向上に注力いたしました。

以上の結果、当第3四半期における当社グループの連結業績は、売上高1,623億18百万円、営業利益65億76百万円、経常利益72億47百万円、四半期純利益30億64百万円となりました。

また、上述の通り当連結会計年度では、前連結会計年度との比較は致しておりませんが、ご参考までに当社の主要科目の前年同期対比を下表にお示しします。

当社の売上高は前年同期比117.7%増収、とりわけ既存店の前年同期比は106.7%と順調に推移しています。

なお、当期純利益が前年同期比減益となっておりますが、その主因は今期に減損損失4億41百万円を計上したことによるものです。

株式会社スギ薬局の経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年2月期第3四半期	107,654	117.7	5,042	111.1	5,650	110.2	2,909	94.1
18年2月期第3四半期	91,476		4,539		5,127		3,092	
（参考）18年2月期	122,928	117.0	5,941	117.5	6,549	113.0	3,744	119.3

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減比率を示しております。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

（単位：百万円未満切捨）

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
19年2月期第3四半期	102,219	59,979	58.7	875 10
18年2月期第3四半期	-	-	-	- -
(参考)18年2月期	97,033	49,752	51.3	1,663 99

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
19年2月期第3四半期	7,717	13,855	5,640	19,317
18年2月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)18年2月期	-	-	-	-

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

貸借対照表

第3四半期末の総資産は、前期末比51億86百万円増加し1,022億19百万円となりました。

増加の内訳では、流動資産が37億96百万円増加しました。その要因は、現預金が14億6百万円減少したものの、たな卸資産が39億70百万円増加したことや、調剤売上の増加とクレジット売上の増加に伴い売掛金が6億14百万円増加したことによるものです。

また、固定資産は13億89百万円増加しました。増加の内訳は、33店舗の増加により、有形固定資産が5億10百万円増加しておりますが、無形固定資産が連結調整勘定償却を主因に2億83百万円減少し、一方で投資その他資産が差入保証金の増加を主因に11億62百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前期末比21億71百万円増加し422億40百万円となりました。

これは、流動負債が買掛金等により70億14百万円増加したものの、短期借入金の返済により50億円減少し結果として20億14百万円の増加となったこと、及び、固定負債が1億56百万円増加したことによるものです。

キャッシュ・フロー

当第3四半期におきましては、現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前期末より117億63百万円減少し193億17百万円になりました。これは、新規48店舗の出店に伴う有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出、法人税等の支払による支出、定期預金への預け入れによる支出、及び、短期借入金の返済や配当金の支払等があったことによります。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は77億17百万円となりました。これは、税引前四半期純利益の65億46百万円、及び仕入債務の増加57億15百万円、減価償却費、減損損失、連結調整勘定償却額、賞与引当金、退職給付引当金、役員退職慰労引当金の増加額の合計29億88百万円等の資金増加要因に対し、たな卸資産の増加39億70百万円、法人税等の支払34億13百万円等の資金減少要因を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は 138 億 55 百万円となりました。これは主に、定期預金及び定期積金への預け入れによる支出 113 億 7 百万円、店舗出店による有形固定資産の取得による支出 20 億 98 百万円、出店準備中の店舗案件を含めて差入保証金等の支出が 12 億 82 百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は 56 億 40 百万円となりました。これは、短期借入金の返済 50 億円及び配当金及び少数株主への配当金の支払 5 億 98 百万円の支払いを行ったことによるものであります。

[参考]

平成19年2月期の連結業績予想(平成18年3月1日～平成19年2月28日)

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	百万円 216,000	百万円 10,200	百万円 4,600

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 76円94銭

[連結業績予想に関する定性的情報等]

今後の見通しにつきましては、外部要因として、個人消費が増加基調にあるものの伸び悩んでいることや、暖冬や原油価格の変動、金利の上昇、価格競争の激化など、先行きに不安を残す状況にあり、厳しい経営環境が続くものと予想されます。

当期における新規出店等は、関東エリア・中部エリア・関西エリアへの積極的な店舗展開を継続的に実施し、新規出店54店舗、退店16店舗となる見通しであります。

今後の業績見通しにつきましては、上記の外部要因の影響や新規出店計画の進捗などにより変動する可能性があります。現時点では、上記通期の業績見直しをすることなく、当初の連結業績予想の達成に向けて最善の努力を払って参ります。

なお、業績の見通しにつきましては、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。

その要因のうち、主なものは以下のとおりです。

- ・当社営業地域の経済状況の急激な変動
- ・薬事法・大規模店舗立地法等の各種規制の大幅な変更
- ・薬剤師有資格者の労働市場における需給関係の急激な変動 など

1.(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年2期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年2期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年2月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	30,619	-	-	-	32,025
売掛金	2,861	-	-	-	2,247
たな卸資産	26,659	-	-	-	22,689
その他	4,437	-	-	-	3,819
流動資産合計	64,578	-	-	-	60,781
固定資産					
1 有形固定資産					
建物及び構築物	14,759	-	-	-	14,388
土地	5,965	-	-	-	6,066
その他	1,637	-	-	-	1,397
有形固定資産合計	22,363	-	-	-	21,852
2 無形固定資産					
連結調整勘定	1,676	-	-	-	1,978
その他	1,769	-	-	-	1,750
無形固定資産合計	3,445	-	-	-	3,729
3 投資その他の資産					
差入保証金	9,391	-	-	-	8,253
その他	2,440	-	-	-	2,416
投資その他の資産合計	11,832	-	-	-	10,669
固定資産合計	37,641	-	-	-	36,251
資産合計	102,219	-	-	-	97,033
(負債の部)					
流動負債					
買掛金	26,384	-	-	-	20,721
短期借入金	-	-	-	-	5,000
賞与引当金	714	-	-	-	120
その他	8,043	-	-	-	7,285
流動負債合計	35,142	-	-	-	33,127
固定負債					
長期借入金	5,000	-	-	-	5,000
退職給付引当金	831	-	-	-	677
役員退職引当金	598	-	-	-	564
その他	667	-	-	-	700
固定負債合計	7,097	-	-	-	6,941
負債合計	42,240	-	-	-	40,069

科 目	当四半期 (平成19年2期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年2期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年2月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(少数株主持分)					
少数株主持分	-	-	-	-	7,212
(資本の部)					
資本金	-	-	-	-	15,434
資本剰余金	-	-	-	-	17,677
利益剰余金	-	-	-	-	16,608
その他有価証券 評価差額金	-	-	-	-	31
自己株式	-	-	-	-	0
資本合計	-	-	-	-	49,752
負債、少数株主持分 及び資本合計	-	-	-	-	97,033
(純資産の部)					
株主資本					
1 資本金	15,434	-	-	-	-
2 資本剰余金	17,677	-	-	-	-
3 利益剰余金	19,185	-	-	-	-
4 自己株式	0	-	-	-	-
株主資本合計	52,297	-	-	-	-
評価・換算差額等					
1 その他有価証券 評価差額金	19	-	-	-	-
2 繰延ヘッジ 損益	3	-	-	-	-
評価・換算差額等合計	22	-	-	-	-
少数株主持分	7,659	-	-	-	-
純資産合計	59,979	-	-	-	-
負債、純資産合計	102,219	-	-	-	-

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年2期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年2期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成18年2月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	162,318	-	-	-	-
売上原価	121,690	-	-	-	-
売上総利益	40,627	-	-	-	-
販売費及び一般管理費	34,050	-	-	-	-
給与手当	12,206	-	-	-	-
賃借料	7,272	-	-	-	-
その他	14,572	-	-	-	-
営業利益	6,576	-	-	-	-
営業外収益	1,271	-	-	-	-
営業外費用	600	-	-	-	-
経常利益	7,247	-	-	-	-
特別利益	85	-	-	-	-
特別損失	786	-	-	-	-
税金等調整前四 半期純利益	6,546	-	-	-	-
税金費用	2,897	-	-	-	-
少数株主利益	584	-	-	-	-
四半期純利益	3,064	-	-	-	-

3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当四半期 (平成19年2期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年2期 第3四半期)	(参考) 平成18年2月期
区 分	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期純利益	6,546	-	-
減価償却費	1,399	-	-
減損損失	509	-	-
連結調整勘定償却額	295	-	-
賞与引当金の増減額(減少：)	594	-	-
退職給付引当金の増減額(減少：)	154	-	-
役員退職慰労引当金の増減額(減少：)	34	-	-
受取利息及び受取配当金	58	-	-
支払利息	16	-	-
売上債権の増減額(増加：)	614	-	-
たな卸資産の増減額(増加：)	3,970	-	-
仕入債務の増減額(減少：)	5,715	-	-
役員賞与支払額	9	-	-
その他	517	-	-
小計	11,132	-	-
利息及び配当金の受取額	16	-	-
利息の支払額	17	-	-
法人税等の支払額	3,413	-	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,717	-	-
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金及び定期積金の預入れによる支出	11,307	-	-
定期預金及び定期積金の払戻による収入	949	-	-
有形固定資産の取得による支出	2,098	-	-
無形固定資産の取得による支出	177	-	-
差入保証金による支出	1,282	-	-
差入保証金の返還による収入	276	-	-
その他	215	-	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,855	-	-
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入れの返還による支出	5,000	-	-
配当金の支払額	462	-	-
少数株主への配当金の支払額	136	-	-
その他	41	-	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,640	-	-
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	-	-
現金及び現金同等物の増減額(減少：)	11,763	-	-
現金及び現金同等物の期首残高	31,081	-	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,317	-	-

3.(要約)四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期(要約)連結株主資本等変動計算書(自平成18年3月1日 至平成18年11月30日) (単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成18年2月28日 残高	15,434	17,677	16,608	0	49,720	31	7,212	56,964
四半期中の変動額								
剰余金の配当			478		478			478
役員賞与			9		9			9
四半期純利益			3,064		3,064			3,064
自己株式の取得				0	0			0
株主資本以外の項目 の四半期中の変動額 (純額)						8	447	438
中間連結会計期間中 の変動額合計	-	-	2,576	0	2,576	8	447	3,015
平成18年11月30日 残高	15,434	17,677	19,185	0	52,297	22	7,659	59,979

〔商品群別売上情報〕

・ドラッグストア事業

	当四半期 (平成19年2期 第3四半期)		前年同四半期 (平成18年2期 第3四半期)	
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)
調 剤	8,718	8.1	7,310	8.0
ヘルスケア	30,963	28.8	28,035	30.6
ビューティケア	31,849	29.6	24,158	26.4
ホームケア	19,692	18.3	18,145	19.8
ベビーケア	5,273	4.9	4,742	5.2
その他	11,156	10.3	9,082	10.0
合 計	107,654	100.0	91,476	100.0

・ディスカウントストア事業

	当四半期 (平成19年2期 第3四半期)		前年同四半期 (平成18年2期 第3四半期)	
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)
食 品	29,448	53.9	-	-
日用雑貨	14,044	25.7	-	-
スポーツレジャー用品	6,208	11.4	-	-
家電製品	2,589	4.8	-	-
D I Y 用 品	868	1.6	-	-
そ の 他	1,443	2.6	-	-
合 計	54,603	100.0	-	-

〔売上高の対前年同月比の推移〕

・連結

(単位：%)

月	平成 18 年 2 月期			平成 19 年 2 月期								
	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
全 店	-	-	-	+9.1	+8.2	+7.0	+9.0	+8.8	+13.2	+13.3	+16.2	+10.6
既存店	-	-	-	+1.8	+0.9	+0.1	+1.4	+2.0	+6.5	+5.3	+8.4	+3.7

・ドラッグストア事業

(単位：%)

月	平成 18 年 2 月期			平成 19 年 2 月期								
	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
全 店	+14.6	+12.1	+12.0	+15.9	+15.6	+13.4	+14.8	+16.3	+20.4	+21.0	+25.5	+15.9
既存店	+3.8	+2.6	+1.9	+6.1	+5.4	+3.7	+4.3	+5.2	+9.3	+8.0	+13.4	+4.5

・ディスカウントストア事業

(単位：%)

月	平成 18 年 2 月期			平成 19 年 2 月期								
	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
全 店	+2.2	-1.5	+0.3	-1.9	-3.6	-3.2	-0.7	-3.4	+1.9	+0.1	-0.5	+0.9
既存店	-1.0	-4.6	-2.7	-4.9	-6.3	-5.5	-3.3	-3.8	+2.1	+0.5	+0.1	+2.1

(注)1. 上記の数字は、当社営業速報に基づいて作成されております。

2. 既存店は開店後 13 ヶ月を経過した店舗を指しております。

〔所在地別店舗数〕

		平成 18 年 2 月末現在			平成 18 年 11 月末現在		
		スギ薬局	ジャパン	合 計	スギ薬局	ジャパン	合 計
関東	群馬県	-	1	1	-	1	1
	埼玉県	-	22	22	11	21	32
	千葉県	-	-	-	1	-	1
	東京都	-	4	4	1	4	5
関東小計		-	27	27	13	26	39
中部	岐阜県	39	-	39	34	-	34
	静岡県	-	-	-	1	-	1
	愛知県	201	-	201	212	-	212
	三重県	34	-	34	40	-	40
中部小計		274	-	274	287	-	287
関西	滋賀県	17	2	19	16	2	18
	京都府	9	15	24	9	14	23
	大阪府	19	57	76	23	57	80
	兵庫県	6	37	43	10	38	48
	奈良県	3	6	9	4	6	10
関西小計		54	117	171	62	117	179
総店舗数		328	144	472	362	143	505